

地域連携DMO
「きた・北海道DMO」の形成に向けて
～ 地域に観光客を呼び込む仕組みづくり ～

2021年11月12日

わっかない観光活性化促進協議会
地域連携DMO準備室

自己紹介

氏名

中井 達也

所属

わっかない観光活性化促進協議会
地域連携DMO準備室

経歴

- ・大阪府出身
- ・ANAグループで主に航空券販売・販売計画業務を担当
- ・令和元年（株）ANA総合研究所 主席研究員として稚内市へ派遣
- ・地域連携DMO準備室ではマーケティング担当者として
年度内の地域連携DMO候補法人登録を目指し取り組んでいる。

地域連携DMO「きた・北海道DMO」とは

「利尻礼文サロベツ国立公園」を有する日本最北端の地域である
「**稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町**」の1市3町が
連携し、行政区域の垣根を越え、地域の観光課題の解消、観光資源の
磨上げ、観光客と地域事業者をつなぐ「観光地域づくり」を担う組織
です。

令和4年3月に
観光庁「地域連携DMO候補法人登録」を目指しています。

地域の紹介

稚内へは

稚内駅からJR直通特急で**5時間10分**

札幌から都市間バスで**5時間40分**

旭川駅からJR直通特急で**3時間47分**

羽田空港から空路で**1時間30分**

新千歳空港から空路で**55分**

利尻島へは

丘珠空港から空路で**55分**



何処から出発しても「旅費は**高**く」「距離は**遠**く」「旅程は**長**くなる」

地域の観光資源

絶景



グルメ



歴史・文化



野生動物や 貴重な高山植物と の出会い



アウトドア体験

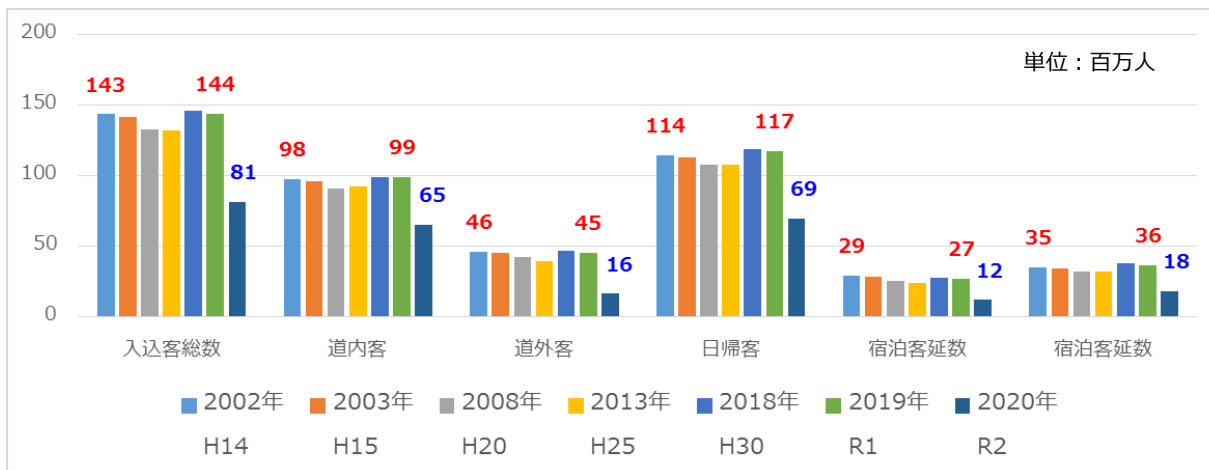


イベント

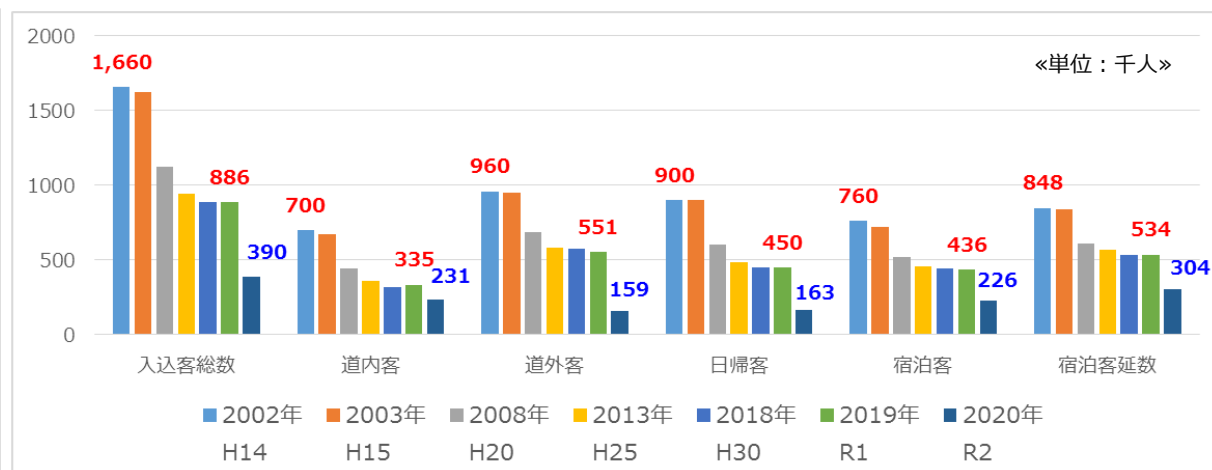


地域の現状

北海道の来訪者動向



北宗谷（1市3町）の来訪者動向



来訪者の減少が止まらない

観光業界だけでなく地域経済に大きな打撃

このまま無策な状態が続くと、更に状況は悪化の恐れ

地域に落ちる観光消費額（2019年度）



定住人口

1人減少分

1人当たりの年間消費額

127万円

稚内市人口	32,423人
礼文町人口	2,387人
利尻町人口	1,945人
利尻富士町人口	2,347人
1市3町計	39,102人

域内定住人口の
年間消費額

497億円



外国人旅行者

8人分

一人当たりの観光消費額

15万3,029円

稚内市	15,750人
礼文町	1,360人
利尻町	710人
利尻富士町	2,657人
1市3町計	20,477人

外国人旅行者の
年間観光消費額

31億円



国内旅行者（宿泊）

23人分

一人当たりの観光消費額

5万4,300円

稚内市	298,500人
礼文町	47,000人
利尻町	26,200人
利尻富士町	64,000人
1市3町計	435,700人

国内旅行者（宿泊）の
年間観光消費額

237億円



国内旅行者（日帰り）

73人分

一人当たりの観光消費額

1万7,285円

稚内市	203,200人
礼文町	65,000人
利尻町	109,700人
利尻富士町	71,900人
1市3町計	449,800人

国内旅行者（日帰り）の
年間観光消費額

82億円

350億円

847億円

定住人口1人当たり年間消費額は2018年家計調査（総務省）による。
定住人口1人減少に相当する旅行者人数は、定住人口1人当たり年間消費額を訪日外国人旅行者又は国内旅行者（宿泊）（日帰り）1人1回当たり消費額で除したもの（※観光庁資料）
定住人口は2021年9月30日現在の1市3町公表の数値を採用。域内消費額は上記単価を域内人口で乗じたもの。

地域連携DMOの役割

地域観光振興の舵取り役

- ・泊まってもらう
- ・長時間（長期間）滞在してもらう
- ・お金を使ってもらう



地域に観光客を呼び込む仕組みをつくるには

観光データを読み取り、ターゲットごとの観光戦略を立てる

地域の魅力をターゲットへ正確にわかりやすく伝達する。

顧客視点にこだわったプロモーションを実施する。

観光振興はチーム戦で実施する。

必ず地域で成果を共有する。

ご清聴ありがとうございました。

